



TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

1-3 KAGURAZAKA, SHINJUKU-KU, TOKYO 162-8601, JAPAN

Phone: +81-3-3260-4271

2022 年 10 月 4 日

報道関係者各位

東京理科大学 近代科学資料館「大村智記念展示室」 オープニングセレモニー開催のご案内

東京理科大学（学長：石川 正俊）は、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」との建学の精神を紹介する施設として、神楽坂キャンパスに「近代科学資料館」を設置しています。

このたび、同施設内に、2015 年にノーベル生理学・医学賞を受賞され、我が国の受賞者で唯一の私学出身者である大村智特別荣誉博士（1963 年本学大学院理学研究科修士課程修了、1970 年理学博士）の功績を顕彰する施設として、「大村智記念展示室」を開設いたします。

この展示室では、高校で教鞭をとりながら本学大学院で学ばれた日々を紹介する資料や、当時の研究装置である有機物の構造を決定する核磁気共鳴機器（NMR）の実機を展示するほか、大村博士が長年取り組んでこられた、薬につながる微生物由来の化合物の探索研究について紹介します。また、大村博士より寄贈いただいた書籍や直筆の色紙なども展示する等、若い科学者、特に化学や薬学系等の理学を志す中高生の道しるべとなるよう企画しております。

つきましては、展示室開設に伴い下記のとおりオープニングセレモニーを開催しますので、ご多用のこととは存じますが、ぜひ取材いただきたくご案内申し上げます。

ご来場の際には、本学広報課へ 10 月 24 日（月）15:00 までにご連絡いただければ幸いです。

記

日 時：2022 年 10 月 26 日（水）15:00～16:30

会 場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 近代科学資料館（二村記念館）
（東京都新宿区神楽坂 1 丁目 3 番地）

次 第：（1）オープニングセレモニー 15:00～

① 理事長挨拶 浜本 隆之 理事長

② 学長挨拶 石川 正俊 学長

③ 来賓挨拶 大村 智 東京理科大学特別荣誉博士

④ 記念写真撮影

⑤ テープカット

（2）内覧会 15:30～

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

東京理科大学 広報課（担当：木村・久保田）

TEL：03-5228-8107 FAX：03-3260-5823

E-mail：koho@admin.tus.ac.jp

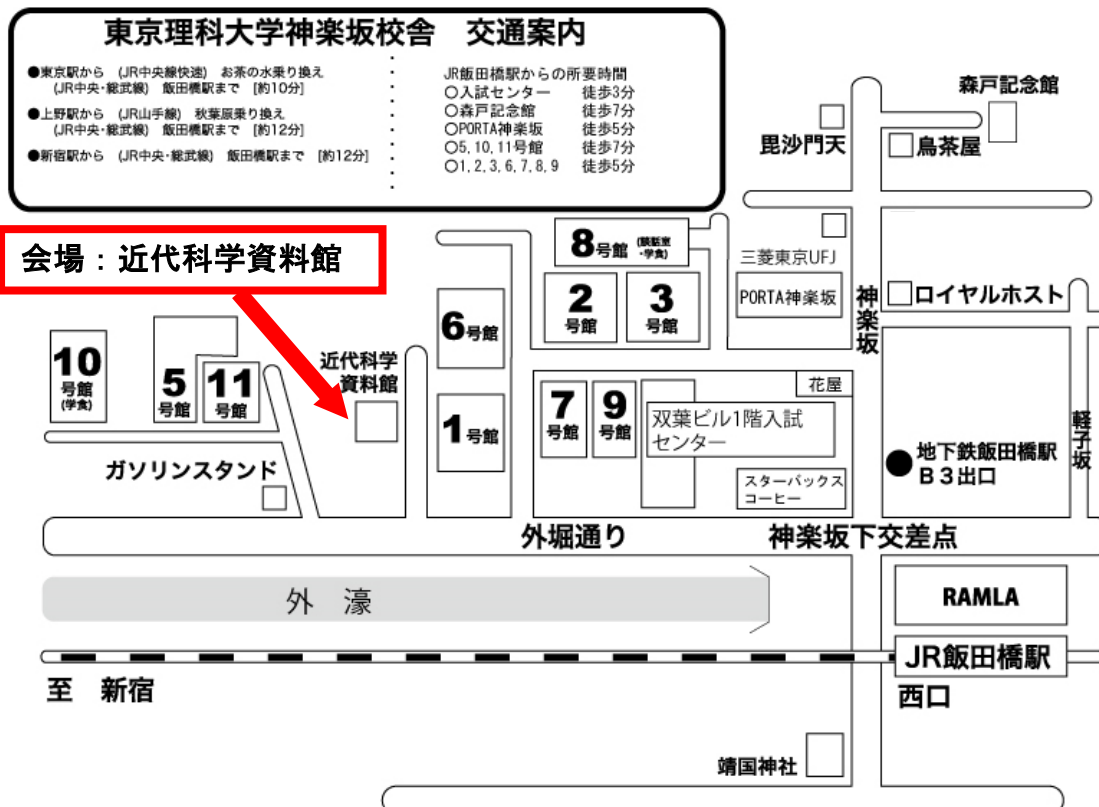
【会場ご案内地図】

東京理科大学 近代科学資料館

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3 TEL：03-5228-8107（広報課直通）

<アクセス>

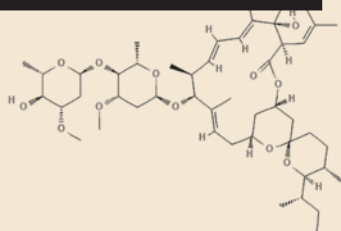
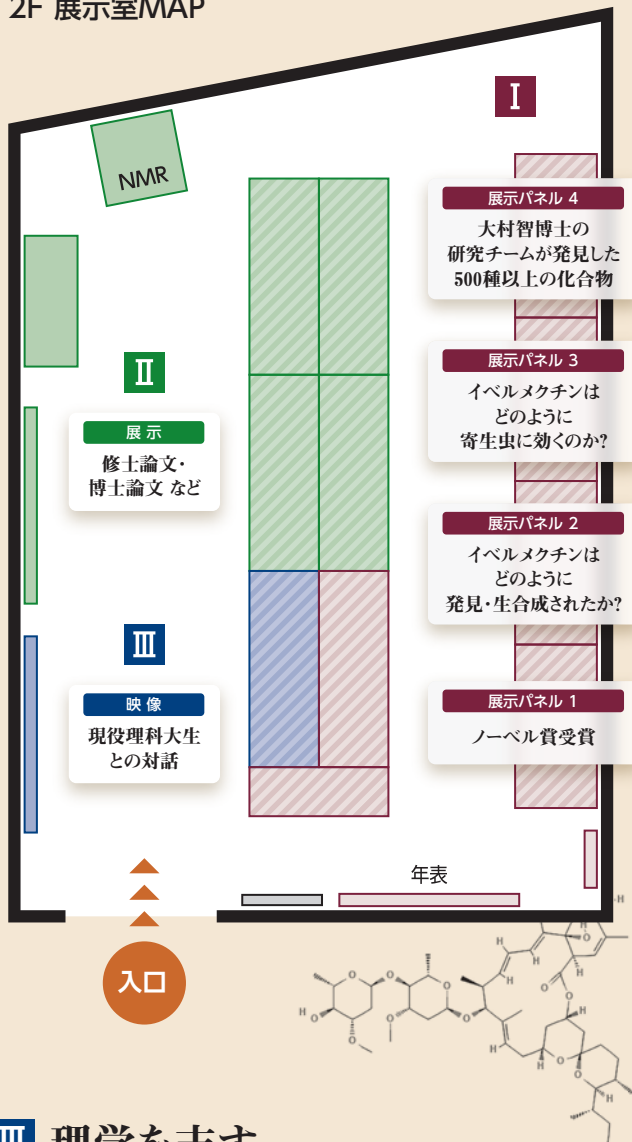
- JR 中央線：飯田橋駅（西口）より徒歩 5 分
- 東京メトロ：飯田橋駅 B3 出口より徒歩 3 分



※駐車場はございませんので、近隣の駐車場をご利用ください。

2022.10

2F 展示室MAP



Ⅲ 理学を志す 理学生たちへのメッセージ

「望みを捨てない者だけに
道は開かれる」

長い研究生活の中では、予想がはずれたり、多くの失敗も経験しました。しかし必ず成功するはずだと信じて、失敗にめげず努力をしてきた結果、ノーベル賞を受賞することができました。



I 世界を救った業績でノーベル賞 －微生物から抗生物質を作る－

米国メルク社に国際産学共同研究を申し入れ、1973年に覚書を交わし共同研究を開始した。

静岡県の土壌から発見した新種の微生物が興味深い活性を持つことを見出し、米国メルク社に送った。

メルク社でのスクリーニングでその微生物がつくる物質が抗寄生虫活性を持つことが見出され、その化合物を「イベルメクチン」と名付けた。

さらにその化合物を化学変換により改良して、より効果が高い動物用およびヒト用の抗寄生虫薬「イベルメクチン」を開発した。

イベルメクチンは年間4億人余りの人々を失明から救い、リンパ系フィリア症、疥癬、糞線虫症などにも世界中で使用されている。



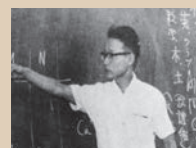
ノーベル賞受賞式
2015年12月10日(日本時間11日未明)

Ⅱ 学びを深める 東京理科大学での出会い －分子構造を決定するNMR－

山梨大学卒業後、埼玉県浦和市(現さいたま市)に移住。東京都立墨田工業高校の夜間部の教員として化学と保健体育の授業を受け持つ。真剣に勉強する生徒に触発され、もう一度勉強し直したいと考える。

東京教育大学(現 筑波大学)の生物活性天然有機化合物分野の教授であった中西香爾先生(2007年文化勲章受章)に出会い、東京理科大学都築洋次郎研究室を紹介される。

東京理科大学大学院理学研究科に1960年入学。都築研究室にて森信雄講師の指導のもと当時日本に1台しか存在しない最先端の核磁気共鳴(NMR)機器を用い、有機化合物の構造決定の知識や技術を身につけた。



1961年(墨田工業高校にて化学の授業)



森信雄講師と大村智博士



昼間は大学院で勉強、夜は高校の教師として働き、土日は徹夜で実験をしながら、1963年に修士課程を修了する。1970年には東京理科大学で理学博士号を取得する。

八研(都築研究室)集合写真